

コラム イギリス・フランスの幼稚園におけるコンピュータ事情

益井洋子

1. フランスの幼稚園におけるコンピュータ事情

幼稚園におけるコンピュータ利用は、積極的とは感じられなかった。パソコン室に 2 台置いてあり、ソフトの数も少なかった。主任の先生曰く「多くの体験をさせたいと思っている。パソコンにかける時間がないのが、悩みでもあり、また、経済的にも掛ける余裕がない。」とのことであった。幼児期に抱えている問題は、言葉であるとのことである。多くの移民が流入し、フランス語の教育が急がれ、また、重要な点であると強調されていた。テキストスタイルの教材を子どもたちはこなしている。また、先生たちの手作り教材に工夫がなされており、フランス語の書く力、読む力、表現する力の豊かさを求めていることが分かった。

2. イギリスの幼稚園におけるコンピュータ事情

イギリスの幼稚園は、コンピュータ活用については、積極的である。かわいらしいパソコンがあつたり、時間を決めて、保育の中に取り入れるなど、ルールを決めて子どもたちは、楽しく遊んでいるのが印象的であった。保育室に 1 台であるが、ゲームを楽しんだり、絵を描いたりして、交代しながら使用していた。保育の中の一部になっている自然さを感じた。